

学区自主防災会のエンジン付発電機を動かす

日時:2009年11月22日(日)9:00 - 11:30

場所:自治会館「やまびこ」横、学区自主防災会倉庫前

参加者:学区自主防災会事務局長(久保田氏)はじめ数名(一丁目自主防災会からは笈田が参加)

内容:

小型ガソリンエンジン直結型の発電機(1.5kW)が5台あり、それらの始動を試みる。エンジンオイルはすべて十分入っている。ガソリンタンクにはわずかガソリンが残っている。しかし、チョークレバーを閉じて始動ロープを引いても、どのガソリンも始動しない。代わる代わる始動を試みても、全く動かない。このような状態では、災害発生時の緊急事態には対応できない!!!

新しいガソリンを注入したり、プラグを点検したりして、漸く動き始めたのは30分以上経ってからであった。

1台の発電機を自治会館の北東角へ運び、自治会館の壁から出ている2本の差込プラグを発電機のコンセントに入れて、災害時停電した場合の自治会館への電気供給を行ってみる。自治会館の照明も全て完全についた。

少量のガソリンが無くなって、全てのエンジンがストップするまで動かす。

今回のチェックで得られた教訓は、少なくとも6ヶ月に1回はエンジンの始動を行わないと、緊急の場合に役に立たない、ということである。

* * この様子は、比叡平3丁目自治会自主防災部のページ(久保田部長のブログ)

<http://blog.livedoor.jp/shagal/> に写真入りで示されているので、ご覧になってください。

以上(文責:笈田)